

令和 7 年度 串本中学校

モデルロケット教室の実施報告書

和歌山県宇宙教育研究会 事務局長
和歌山県立桐蔭高等学校 藤木郁久

1. 開催目的

モデルロケットを自分で作って、実際に火薬で 80 m 上空まで飛ばすという経験を通してロケットの飛ぶしくみや飛ぶ原理を理解し、カイロスロケット発射場のある串本町に在住の中学生が、宇宙をさらに身近に感じるきっかけ作りとなるようにしたい。

2. 実施の詳細

10 月 14 日（火）

串本中学校モデルロケット教室

会場：串本中学校と望楼の芝

串本中学校の中 1 の全生徒 28 名（1 名の欠席）を対象に、モデルロケット教室を開催した。串本中学校では毎年、中 1 生を対象に行っていて、5 年目である。メインの講師を串本古座高校の太田先生が務めた。藤木と串本町役場ロケット推進室東田さん、南紀串本観光協会 青木圭さんがサポートを行った。また、串本古座高校 宇宙探究コースや C G S 部の生徒 6 名も手伝いに来てくれた。午前中にモデルロケットを作製し、昼食をはさみ、残りの組み立てを完成させた後、望楼の芝へマイクロバスで移動し、モデルロケットの打ち上げを行った。

打ちあがる度に大きな歓声があがっていた。今回はドローンの操縦体験も十分な時間を確保して行ってもらった。



<串本古座高校 太田先生>



<打上準備完了>



<勢いよく打ち上がる
モデルロケット>



<望楼の芝にて>



<ドローンからの集合写真>



<最後のまとめ>



<串本古座高校6名と藤木>
ドローンにて撮影

3. 成果

和歌山県宇宙教育研究会を2020年9月に発足し、串本町を中心に活動を行っています。中学校での授業としての取組も5年目となった。串本西中学校や西向中学校は3年ごとに、串本中学校や潮岬中学校は1年ごとにこれからもモデルロケット教室を開催していきたい。

今年も、串本町よりモデルロケットの教材費や藤木の出張旅費を支出してもらえた。中学校や生徒の負担0で、1人4千円のキットにて授業を受けることができ、多くの方からお礼のお言葉をもらうことができた。打ち上げの瞬間には大きな歓声を聞くことができ、主催する我々もやりがいを感じることもできる瞬間を何度も味わうことができた。来年も、この取組を串本古座高校の太田先生や、串本古座高校CGS部、宇宙探究コースの生徒、串本町役場ロケット推進室や南紀串本観光協会青木さん、USPさんの協力のもとに、行ってきたい。

串本町に完成した発射場から18mのカイロスロケット3号機が飛び立つ瞬間が楽しみである。

和歌山県宇宙教育研究会として「宇宙のまち串本」を応援していきたい。